

主体的に学ぶ

「きっかけ」を作る

外国語活動

大阪府富田林市立寺池台小学校 北野 梓

1 はじめに 主体的に学ぶきっかけを作る一人になりたい

私は、英語が好きである。小さい頃から小学校の教師になることを夢見ていたのだが、大学進学を考えるとときには、「小学校の先生」か「高校の英語の先生」か、どちらになるか迷ったほどだった。結果的には、子供たちの人格形成に大切な小学生の時期に関心があったことと、他の教科にも関わりたかったので小学校教師を選び、現在は五年生の担任をしている。

そのような私も、はじめは英語が得意ではなかった。中学校一年生の頃は、bとdをよく反対に書いているような子だったし、英会話を習っているわけでもなかったのに、大したことを話せることもなかったが、英語を話すことへの憧れから、教科書の音読は好きだった。

私の気持ちを変えた1番のきっかけは、高校一年生の冬にオーストラリアから来たJulietという留学生だった。綺麗な金髪に真っ白な肌、グリーンの瞳の彼女は、私にとって人生初の「同年」の外国人だった。彼女に楽しんでほしくて、お好み焼きを食べに行ったり、マクドナルドに行ったり、プリクラを撮ったり、いろんなことをした。このことは、英語を話す必然性がある貴重な時間で、「中学校レベルの英語で通じる」ことを実感させてくれた。

また、私がかawaiiと思うものを“kawaii!”と笑顔で言ってくれる彼女を見て、「国が違って、こんなに見た目が違って、かawaiiと思うものは似てるんだなあ」と驚いた。彼女との出会いは、外国への親近感や英語が使えたら世界が広がるというワクワク感を学べた出来事で、英

語を勉強することの価値をより一層実感させてくれた。

そういった経験もふまえ、現在は教師として、子供たちが主体的に学べるきっかけを作れたら、そんな一人になれたらと思う。

2 仮説 子供たちには、明確なゴールや英語を話す必然性が必要では？

子供たちは、きっかけを得る名人だと思う。春の家庭訪問や夏の個人懇談会で、保護者がこんな話をしてくれた。

「先生が英語得意だから、今年は英語がんばるって言っています」「先生みたいに英語が話せるようになりたいからと言って、家でちょっとずつ英語やっています」。

また、「先生がオーストラリアに行っていたから、私も行きたい」と目を輝かせて話してくれる子もいる。英語の時間にクラスルームイングリッシュを使ってごく簡単な話をしたり、ALTとやりとりをしたり、社会の国調べの導入でオーストラリアに行ったときの写真を見せたりした程度なのだが、指導者の様子やちょっとした話からも子供たちは一生懸命に吸収し、意欲的に学ぼうとすることがわかる。子供たちの素直さには、つくづく感心させられる。

そんな子供たちが主体的に学ぶ「きっかけ」を授業の中で設定するには、どうすればよいかを考えた。そこで考えたのが、「子供がゴールを意識できるようにすること」と「英語を話す必然性のある状況を作ること」の2点である。

そこで、まず五年生のはじめの英語の授業では、**資料1**のワークシートにあるアンケートを実施した。

アンケート

- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？
 (好き・まあまあ・いいえ)
- ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？
 (はい・いいえ)
- ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪

資料1 初回のワークシート

毎回の授業では、ワークシートを個人の英語ファイルにしている。

LESSON1 Hello!
 April 19th (Thursday) Grade5 Name _____

アンケート

① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪

世界のあいつを見た感想

サイン欄をしよう

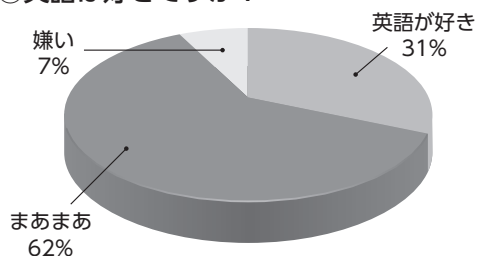
Hello!
 My name is _____
 Nice to meet you.
 Nice to meet you, too.

本校の五年生は、外国語活動を一、二年で各5時間、三、四年で各10時間学習しており、合計30時間の学習経験をしている。①②は、子供たちの実態を知るため、③は子供たちが思うゴール(願い)を知ることを目的とした。

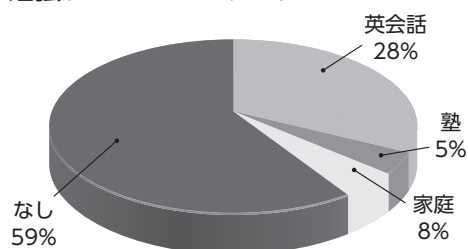
外国語活動を指導している五年生83名の結

果(2018年4月19日実施)は、以下である。

①英語は好きですか？



②学校以外で英語を勉強することがありますか？



また、③の答えでは、「英語で、外国人と話してみたい」「困っている外国人の人がいたら道案内してあげたい」「英語で自己紹介をしたい」「英語がペラペラになりたい」などが見られた。

特に多かった「英語で、外国人と話してみたい」という回答からは、英語を話す必然性のある「相手」や「内容」をどう設定するかが重要なのではないかと考えた。

アンケート

- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪
 私は英語で外国人と話してみたいです。
 英語をすらすら言えるようになりたいです。

- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪
 まっかける外国人がいたら話しかけたいようにして
 ようにしたい

- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪
 これからがんばりたいことは、世界各国の文化を
 手裏由は、いろんなことをおぼえていけること
 これからがんばりたい

- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪
 自分のことも(しゃみや、てくまり)あやちや、(見)たい。あとに英語で人
 に道をいろいろ示すこともおしえてあげたい。



- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪
 ぺらぺらにしゃべれるようになりたい。
 英語で言えたりしたときに英語で返せるようになりたい。



- ① 1～4年生で少し英語を勉強したと思いますが、英語は好きですか？ (好き・まあまあ・いいえ)
 ② 学校以外で、英語を勉強することがありますか？ (はい・いいえ)
 ③ これからがんばりたいこと、英語で言えるようになりたいことなど、意気込みを聞かせてね♪
 英語でスピーチできるようにになりたい。外国人としゃべれるように
 なりたい。



3 実践

(1) 子供たちに「見えるゴール」の設定

ここでは、子供たちへの手立てとして試
 みているワークシートの工夫と板書の工夫
 を紹介したい。

①ワークシートの工夫

～ゴール意識の弱さから気づいたレベル別・
 項目別ゴールの設定～

資料3 今年度使用しているワークシート

LESSON 2 I'm happy.
 April 26th (Thursday)

Grade5 _____
 Name _____

TODAY'S GOAL 今日の目標
 Level 1 () 今の気分(調子)を英語で伝えることができた。
 Level 2 () 今の気分(調子)をジェスチャーや表情付きで伝えられた！ ()の中に◎△
 Level 3 () 友だちに一言コメントできた！ を入れましょう

COMMUNICATION コミュニケーション

A: Hello!
 B: Hello!
 A: How are you?

B: I'm _____ Level 1,2 気分
 A: _____ Level 3 一言

感想
 Oh, nice! いいね！
 Me, too! I see. なるほど

海外では、How are you?以外にも
 What's up? How's it going?など
 今日の調子はどうかとよく聞かれます。

*資料2、3は、どちらも五年生用教材 *Hi, friends! 1 Lesson 2* のために作成したワークシートである。

資料2 前年度使用したワークシート

Lesson 2-② How are you? ごきげんいかが？
 ～今の気分を伝えよう～

日付 May _____ name()
 曜日 _____

目標
 ① 気分を表す言い方をすずんで発音しよう ()
 ② 友だちに今の気分を聞いてから、相づちを返そう ()
 ◎○△を () に入れましょう！

わかったこと
 ★初めて知ったことや言えるようになったことを書こう。

感想 楽しかったこと、がんばっていた友だちの様子を書こう。

これまで、毎時の初めにゴール(目標)を確認してから授業を始めていた。ゴールに達成したと思えたら、各項目の()の中に自己評価で◎○△を記入するというシステムである。しかし、活動の中で子供たちにゴールを意識させられているのか、疑問を感じていた。より見えやすいゴールで、多様な子供たちが自分の伸びを実感できるように、今年度はゴールをレベル別や活動の項目別に2～3個設定するように変えてみた。

必ず達成してほしい 1ができれば挑戦 できたら、めっちゃすごい！

Level.1 Level.2 Level.3
 Hop Step Jump

例えば、資料3では、How are you? と尋ねられ、I'm happy. など気分を伝えることは必ず達成してほしいLevel.1に設定した。Level.2は、でき

ればやってほしい身ぶりや表情にした。Level. 2に○をつけるためには、身ぶりや表情を意識する必要が出てくる。そして、Level. 3は一言コメントである。一言コメントとは、“Oh, nice!” “Me, too.” “I see.” や、友達の具合が悪い時には、“That’s too bad. Take care.” などの声かけのことである。それらは「できたら、めっちゃすごい！」ことに設定した。このように、1つの項目で、より工夫をさせたい場合には「レベル1～3」の目標を設けた。

レベル別のゴール設定をしたことで、「今日は、Level. 3まで行けたで！」とか、「今、Level. 2でできたから○書いていい？」など、子供たち自身がゴールを意識して活動していることがわかった。

資料4

LESSON 3-① How many? Grade 5
May 7th (Monday) Name _____

TODAY'S GOAL 今日目標
Hop () 英語でじゃんけんができた。
Step () 英語で1～10まで数えられた！
Jump () 子の他の言語で1～10まで数えられるようになった!!!
! フランス語、スペイン語、韓国語、中国語

Practice 練習
英語でジャンケン Rock, scissors, paper, one, two, three.

(1) 語 One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten
(2) 語 un, deux, trois, quatre, cinq, six, sept, huit, neuf, dix
(3) 語 いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、く、じゅう
(4) 語 uno, dos, tres, cuatro, cinco, seis, siete, ocho, nueve, diez
(5) 語 一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十
(6) 語 yi, er, san, si, wu, liu, qi, ba, jiu, shi

巨細圖 二人とも5月という意味?!
となりのトロロ さつきとめい
毎月(毎月の5月の意味), May (英語で5月)

似ているところ・気づいたこと
私が練習したのは、 _____ 語

また、上の「資料4」のように、ゴールに向かう複数の活動の達成感をそれぞれ味わわせたい場合には「ホップ、ステップ、ジャンプ」の目標を設定した。Hi, friends! 1 Lesson 3 How many? は、ペアでじゃんけんをして勝った数やテキストの

中のイラストの数を数えたり、英語だけでなく世界の数の数え方に出会ったりするレッスンである。Hi, friends! 1 Lesson 3 Let's Listen のデジタル教材には、フランス語、スペイン語、韓国語、中国語の音声が取録されている。Jump の目標は、その4つの言語から1つ選び、自力で1～10を数えられることを設定した。繰り返し音声を聞くうちに、中国語や韓国語は、日本語と似た音が多いから覚えやすいと言って選ぶ子供たちが多かった。音声を聞いて練習した後は、ペアで聞き合って発表に備えた。発表タイムでは、Jump を達成するために、みんなの前でどんどん手を挙げ、世界の1～10に挑戦する姿に驚かされた。普段手を挙げるのを恥ずかしがる子も手を挙げ、見事に韓国語の1～10を達成した。

私が「みんなの前でスラスラと上手に言えたから、花まるを書いてね！」と言うと、うれしそうにしていた。また、授業が終わってから、私のところへやって来て「さっきは自信がなくて手を挙げられなかったけれど、中国語の1～10を聞いてください」と、挑戦にくる子の列もできた。翌日、「先生、昨日家に帰って、韓国語の1～10をお母さんに聞いてもらったよ。そしたら、『すごいやん。どこで習ったの?』って、お母さんがびっくりしていた」と自慢げに話してくれる子もいた。

レベル別や項目別のゴールを設定することが、子供たちにいつもよりもう一步先へ進む意欲を掻き立てることを実感した。

words
果物
apples, strawberries, cherries, peaches, grapes, lemons, bananas, pineapples, oranges, melons, kiwi fruits,
アイスクリーム、飲み物
ice cream, milk, juice
動物
birds, rabbits, dogs, cats, spiders
スポーツ
baseball, soccer, swimming, basketball

英語と日本語の音のちがいは…!
例えば「モン」と日本語で言うとは、
と聞いているけど英語だと「モン」と言
うすかんじだと思った。
② 英語だと「ー」(のばいほう)が
ついている (○○○○さん) の意見

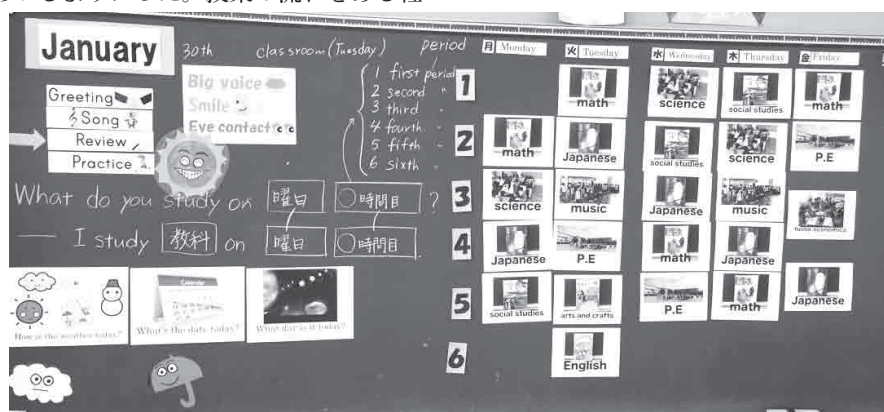
韓国のことでは知っていることは、どんなことですか?
韓国 TWICE, BTS, BLAK PINK
キムチ

▲Jump で「英語と日本語の音のちがいに気づいた!!」を設定していた時の授業では、英語と身近な外来語の音の感じ方を交流し合った。

② 板書の工夫

昨年度から実施していることだが、「本時のメニュー」を黒板の左上に示すようにした。子供たちに本時の内容がどれほどあり、今何をしているかわかるようにした。授業の流れをある程

度パターン化することで、子供たちに見通しが立つようにしている。これは、指導者自身が授業を進める上でもわかりやすく、ALTとチーム・ティーチングをする上でも便利である。



(2) 英語を話す必然性の設定 「韓国の五年生と友達になろう」

ここでは、韓国の五年生へ向けたビデオレターづくりに向けて、子供たちの主体性を育むためのしかけを紹介したい。

①「子供たちの声」(願い)を実践につなぐ

前述のアンケート結果では、英語を使って世界の人と友達になることを願う子供が多かった。それを叶えてあげたいと考えるうちに、あることを思いついた。私の韓国人の友人が小学校の教師をしているので、子供たち同士が交流する機会を設けるということである。幸運にも、友人も同じ五年生の担任だった。友人とは、お互い教員を目指している大学生時代に出会い、「先生になれば、子供たち同士を交流できた

らいいね」と話していたので私の願いにも快諾してくれた。

子供たちに交流のためにビデオレターを作ることを話すと、想像していた以上に喜んでくれた。まだ出会ってもいない相手だが、子供たちにとって「英語(外国語)を話す必然性」が生まれた瞬間となった。ビデオレターの内容として考えたのは、Hello. I'm ~. I like ~. という一人一人の簡単な自己紹介である。

さっそく子供たちから、「韓国語を勉強して、韓国語も入れて話した方が伝わりやすいと思う」「韓国語で1~10数えるのを前に勉強したから、それもムービーに入れたらいいと思う」などの提案があった。授業の流れは以下のように設定した。

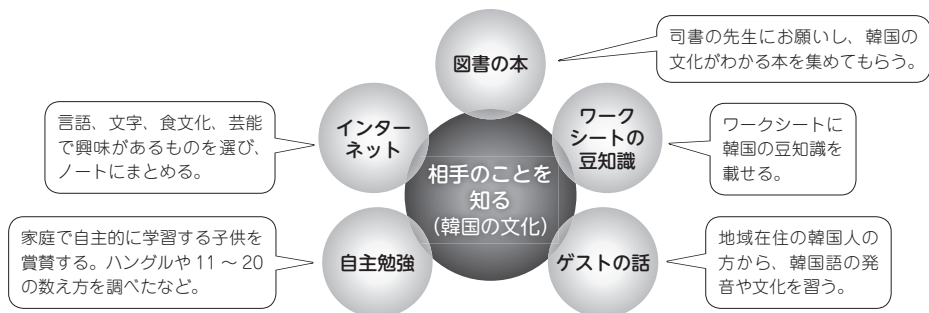
授業の流れ Hi, friends! 1 Lesson 4「好きなものを伝えよう」を使って

時	学習内容	主な評価規準(観点)
第1時	英語と日本語の音の違いに気づき、好きなものや嫌いなものを表す表現を知る。	・単語の発音の共通点や相違点に気づき、振り返りシートにまとめている。(記述分析)
第2時	好きなものや嫌いなものを表す表現に慣れ親しむ。韓国語の挨拶にふれる。	・テキストの語彙を使い、好きなものをすすんで尋ね合っている。
第3時	ALTの「日本の好きなところ」を聞く。韓国や日本の文化で自分のお気に入りを見つける。	・韓国の五年生に伝えることを意識した内容を考えようとしている。
第4時	地域在住の韓国人ゲストティーチャーから韓国語の発音や韓国の文化を習う。韓国の五年生へ伝える内容を考える。	・すすんで韓国語を練習している。 ・話を聞いてわかったことを振り返りシートにまとめている。(記述分析)
第5時	発表の映像を録画する。(韓国語で挨拶、自分のお気に入り紹介、韓国語で1~10を数えるなど)	・自分の「お気に入り」を、他者を意識して発表している。

②相手を知る、親しみをもつ

第1時に、韓国について知っていることをワークシートに書いてもらい、第2時に共有した。最も多く見られたのは、歌手“TWICE”で、歌も踊りも知っているという子が多かった。その

他のことでは、韓国のことを詳しく知っている子と、ほとんど知らない子の差が見られたので、みんなで韓国のことについて知る機会を作ることが課題だとわかった。韓国の文化を学ぶ機会として、以下の手段があると考え、実践した。



▼第2時のワークシート

LESSON 4-2 I like apples.
Jung 7th (Thursday)
Grade 5 Name _____
Date _____ June Bride

TODAY'S GOAL 今日の日目標

Hop () テキストP.14.15の言葉をすずんで復習できた。
Step () ALTの先生の話をしわかったような気がする！
Jump () 友だちに好きなものインタビューができた！！

新しいALTの先生情報

お名前：_____ 先生：_____

Conversation
A: Hello. Do you like ~?
B: Yes, I do. I like ~.
No, I don't. I don't like ~.

I like ~ ?

あなたは韓国では何が好き？ ~韓国の料理、豆知識~
韓国に行った時、面白いのは何ですか？なぜ年頃の話を合わないことがありました。実は、年頃の話をしわかったような感じがする！
韓国は1月1日にみんな年を1つります。しかも、生まれた時を1とします。(日本は2月2日です)。つまり日本の数え方より1～2年増えます。
生まれた日付と 現在の年 生まれた年 + 1 =
2018 - _____ + 1 = _____

▲韓国についての豆知識

韓国といえば...

韓国の小学校と交流することになり、5年のみんなが知っている韓国情報をまとめてみました。(前回の授業のアンケート回答より)

TWICE, TT, キムチ、韓国のり、辛いものに強い
アンニョンハセヨ (こんにちは)、アンニョンヒカセヨ (さようなら)
BTS, BIG BANG, 平昌オリンピック、イ・サンファ、ソウル市
カンジャンケジャン、韓国語で数字1～10言える！
エチュードハウス、ホリカホリカ、シグナル、BLACK PINK、トニイ
トクイス、ぶたうさぎ、大統領、北朝鮮と会議をした、苗字1字が多い

「あ～！そういえば！」というものは、ありましたか？

▲みんなが知っていることの共有

ゲストティーチャーのお話 2018年6月18日(月)

先生のお名前：_____ 先生 _____

韓国の情報！文化について

ハイチズガゼンガウ、はしかとてもちがまてびくくした。
チョルからはいまることかとてもちがまてねこをローヤムとていことガガガた。
ジョカテいこととておはしれ

感想やもっと知りたかったこと

キムチは給食で毎日食べるのかといふことがとても気になりまして、キムチが日本ではどこで売っているのかを調べました。

学校：_____ 名前：_____

▲ゲストティーチャーのお話を聞いてわかったこと

また、子供たちがイメージをもちやすいように、第3時にはALTに「日本の好きなのところ」について話してもらった。こうして、子供たちは「自分の趣味」や「韓国の好きなのところ」「日本のおすすめ」などについてI like ~. で伝える準備をしていった。

③子供たちの発表から見られる相手意識

子供たちは、学んだことをもとに、韓国の五

年生に伝わるように自分なりに工夫して自己紹介を行った。何人かの様子を挙げてみる。

アンニョンハセヨ
児童A：안녕하세요. My name is Hana. I like
축구 (←サッカー) and rice (ご飯を食べる身ぶり).
アンニョンハセヨ
児童B：안녕하세요. My name is Ryota. I like

sports (走る身ぶり) and music (聴く身ぶり) and climbing (山登りの身振り).

アンニョンハセヨ
児童C: Hi. 안녕하세요. My name is Takumi. I like Korea, Busan tower and games
トマンナヨ
또 만나요 (←また会いましょう).

アンニョンハセヨ チョヌン イムニダ ヤブ
児童D: 안녕하세요. 저는 Rui 입니다. I like 야구
안녕히가세요
(←野球). 안녕하세요 (←サッカー).

[相手意識が見られた点]

・韓国語を入れていた

挨拶やスポーツなど、調べた韓国語を交えながら自己紹介をしていた。

・ジェスチャーを入れていた

笑顔で手を振って挨拶をしたり、自分の内容にふさわしい動作をしながら話したり、伝わりやすいよう工夫していた。工夫している子供を賞賛することで、より工夫しようとする姿が見受けられた。

・韓国の文化で好きなことを伝えていた

調べたことや知っていることから、韓国の食べ物や芸能について好きなことを伝えていた。

・日本のお勧めを伝えていた

寿司や天ぷらなど、日本の食文化でお勧めの内容を伝えていた。

相手意識をもつことで、子供たちの中に「こんな風にしたい!」「こうした方がいいのではないか!」という意欲が生まれることがわかった。一人ひとりの動画撮影の際には、一度撮った後

に「よいジェスチャーを思いついたから、もう一回撮ってください」と、何度も撮り直そうとするこだわりも見られた。

このプロジェクトは、現在進行中で、韓国の五年生からの返事を待っているところである。今後は、テレビ電話による交流や、韓国人の友人が1月に学校に訪ねて来てくれたりすることなどを企画している。

4 おわりに

この取り組みを通じて、「子供がゴールを意識できるようにすること」と「英語を話す必然性のある状況を作ること」が主体性を育むことにつながると実感できた。これからは、他の手段も見つけて、自分の中の引き出し(アイディア)を増やしていきたいと思う。

私は、これまで出会ったいろんな方々にたくさんの刺激、きっかけをいただいて生きてきた。これからは、子供たちが教室で共に学んだことが、その子の人生の中でいつか何かの「きっかけ」に繋がる日が来るかもしれないと思うと、ワクワクする。そのために、日常から子供たちに様々なしな付けをしながら、主体的に学ぶ姿勢を育んでいきたい。

まずは、私自身がいつまでも「主体的に学び続ける人」でありたいと思う。

受賞のことば

北野 梓



このような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。

「わたしの教育記録」を機に、これまでの実践を整理したおかげで、大切なことが再確認でき、二学期からも充実した毎日を過ごすことができています。

韓国へ送ったビデオレターは、9月末にお返事をいただき、子供たちと見ることができました。自分たちが送った形式に合わせて、韓国の五年生もネームカードを見せながら、「好きなこと」について自己紹介をしてくれました。中には、日本語も使い、「寿司が好き」や「ポケモンが好き」など、日本文化に親しみを示す姿を拝見し、「韓国のことを、もっと知りたい!」という意欲へと繋がった子も多くいたようです。流暢な英語で話す子を見て、「自分たちも、もっとがんばって英語を話せるようになりたい!」という刺激をもらうこともできました。翌日に、お返事のお礼を韓国語で書いてきた子もいて、「出会い」が子供たちの心を動かすことを目の当たりにする出来事となりました。

現在は、英語を使って外国のお友達と直接話したいという願いを叶えるべく、新たなプロジェクトを始めています。また、ご報告できたらと思います。